



令和7年 11月 1日  
目黒区立ひもんや保育園長

お楽しみ会での職員の劇を見た直後、お面を作りライオンになりきった5歳児の子が事務所に駆け込んできました。「シンバだよ」となんだか目つきも鋭いです。他クラスでもお気に入りの劇の登場人物になりたい子どもたちが、自分のイメージで夢中になって制作しています。中にはいろんな登場人物になりたくて工夫している子もいました。2歳児クラスの子どもは遊具を駆使して身につけています。子どもたちの自分も「なってみたい」「やってみたい」という思いを沢山見ることができました。日々の保育はもちろん、様々な行事の中で子どもたち一人ひとりの心を動かし「自分たちもやりたい」という思いに繋がってくれることが嬉しいです。劇の準備をしていると職員も徐々に「こうしたい」「やってみたい」と子どもたちに見せてあげたい思いが膨らみ、作り物にも演技にも熱が入り楽しんでいました。保育士が楽しんで行事に取り組んだことが、子どもたちにも伝わってくれたことが嬉しいです。完成度が重要なのではなく、子どもたちと楽しい思いを共有し、その後の保育に繋がることを大切にしていきたいと思います。先日、廊下に飾っていた劇の装飾を片付けた時に「もうライオンキング終わっちゃったね、淋しいね」という保護者の方とお子さんの声が聞こえてきました。お楽しみ会翌日にも保護者の方からたくさんの温かいお言葉もいただきました。ありがとうございました。

#### 11月・12月の行事予定

焼き芋会(全園児)

冬の子ども会(3・4・5歳児)

歯科検診(全園児)

交通安全教室(3・4・5歳児)

### お楽しみ会 職員劇 ライオンキングが終わって

舞台にたってみると  
どんな気持ちかな？



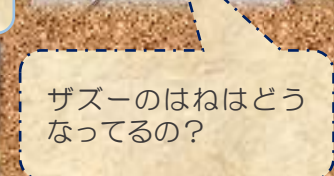
ザズー(鳥)を  
つくりたいな



“ハイエナ”はブロックを  
駆使して制作



ザズーのはねはどう  
なってるの？



色々な動物になりきり表現も様々です







## 秋の戸外遊び



### つくし組(0歳児クラス)

園庭に出ると自分から歩いたり、這い這いや伝い歩きで探索をし始めます。一人の子がしゃがみ込んで拾った落ち葉を小さくちぎり、保育士の手のにのせてくれました。「小さい葉っぱになったね」と声を掛け、手のひらいっぱいになった葉を保育士がひらひらと上から落として見せると、その様子が面白かったのか

”もういっぱい”と、保育士の手を引き寄せ落ち葉をちぎってのせ、保育士を見ます。「もう一回いくよ～」と今度はもう少し高い所から落としてみると、両手を広げて落ちてくる葉を掴もうとしていました。これから散歩に行く機会も増えます。子どもたちが、自然の中で色々な発見や楽しさ等子どもが感じたことに共感できるよう視線を合わせ寄り添いながら一緒に楽しんでいきたいと思います。



### すずらん組(1歳児クラス)

砂場で「工事やろう」とシャベルを持ってくるとその色を見て「これは(緑だから)“はやぶさ”」「こっちは“こまち”」と電車をイメージしています。絵本の中で見た線路をイメージしたのか「そうだ、線路作ろう」と溝を掘り始めたので保育士は反対側から掘り始めました。掘った先が繋がると「やった、つながった!」と喜んでいました。保育士は電車を走らせるのかな?と思いましたが、出来上がった溝に水を汲んできて流し込み「うわぁ、川だ!」と嬉しそうにしています。5歳児が砂場で遊んでいる姿をいつもみていたので真似をしたのかもしれません。それを見た友達も側に来て溝の横に新たに穴を掘り砂を入れ始めたりなど思い思いに遊んでいました。子どもたちは見たことや経験したことをイメージしながら遊んでいます。一人ひとりの子どもの発想を大事にしながら一緒に楽しんでいきます。



### ちゅうりっぷ組(2歳児クラス)

公園に行くと「わぁ、逃げろー」と言って追いかけてこが始まります。保育士が「待てー」と追いかけると「わぁ、来たー」と喜んで走っていきます。そのうちの一人の子が木の陰に見つからないように隠れました。それを見た他の子も隠れたつもりになって柱の陰に顔を付けています。「どこかな?」と保育士が探し始めると「〇〇君早く早く、先生来ちゃうよ」と隠れていない友達を手招きしています。友達が駆け寄ってくると「しーだよ」と人差し指を口に当てて、保育士が探す姿を見ながら互いに顔を見合わせて微笑み合っています。保育士が見つけると「きゃー」と歓声をあげながらまたそれぞれ走り出していました。友達と一緒に走ったり隠れたりしながら遊ぶ中でドキドキやワクワクを共有する楽しさを味わっています。友達と気持ちが通じ合う嬉しさや楽しさを感じながら一緒に遊ぶ姿に成長を感じました。



## 芋掘り遠足に行ってきました ～4・5歳クラス～

10月23日に芋掘り遠足に行ってきました。掘っていくと土の中が硬くて「誰か手伝って～」と友達を呼び協力し合ったり、4歳児が芋を抜けずにいると5歳児が掘るのを手伝ったりしながら収穫しました。土の中から大きな芋が出てくると歓声があがり「大きい～」「お父さん芋だね」と連なった芋を嬉しそうに見せてくれました。



いっぱい  
つながってる

なかなか  
とれないな

リースも  
作りました。

おおきいの  
とれた

いっぱい  
ほろぞ

ちゅうぐらい  
のをつくる

